

ACM SIGGRAPH、「シーグラフィア 2018」を 12月に東京で開催



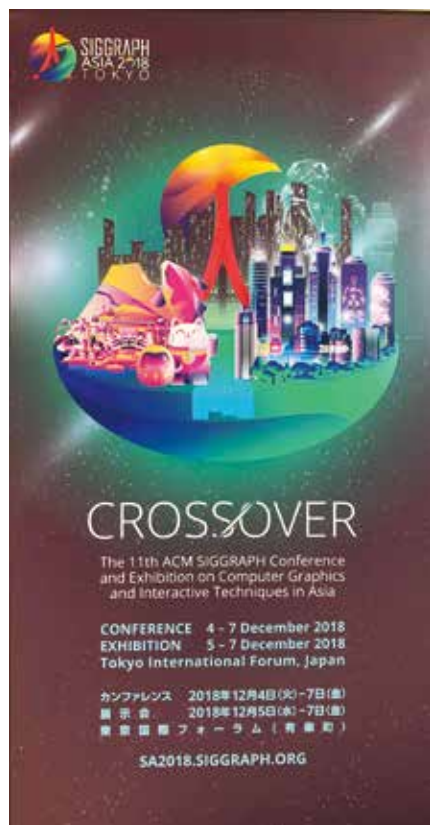
ブラカッシュ・ラマジュ氏
SIGGRAPH Asia Conference Chief Staff Executive



安生健一氏
SIGGRAPH Asia 2018 カンファレンス・チェア



宮崎元一郎氏
SIGGRAPH Asia ナショナルマネージャー



◆ ACM SIGGRAPH、「シーグラフィア 2018」を12月に東京で開催
日本開催は3年ぶり3回目、会期中1万名が来場するCG・インタラクティブ技術の国際会議

コンピュータ科学分野の国際学会(ACM)の分科会「SIGGRAPH」(シーグラフ)は、毎年冬にアジアで開催するコンピュータ・グラフィックス(CG)ならびにインタラク

ティブ技術の研究発表・展示を行う国際会議「シーグラフィア 2018」(SIGGRAPH Asia 2018)を、12月に東京で開催すると発表した(会期:2018年12月4日~7日、会場:東京国際フォーラム)。

シーグラフィアアジアの日本での開催は横浜(2009年)、神戸(2015年)に続いて3回目であり、運営事務局ではアジア諸国を中心に世界中からエンジニア、アーティスト、学生が合計で1万名以上の参加者を予定しています。シーグラフィア 2018は、日本政府観光局や経済産業省など、合計20以上の行政機関・学界・業界団体から後援・協力を受けているほか、プラチナ・スポンサー、ゴールド・スポンサー契約が決まり始めており、国内から高い関心と注目を集めている。また、会期中、世界中から250名以上の学生ボランティアが参加する予定で、こちらも募集が始まっている。

「CROSSOVER(クロスオーバー)」を開催テーマとするシーグラフィア 2018では、コンピュータ・グラフィックス(CG)、バーチャルリアリティ(仮想現実:VR)、拡張現実(AR)、人工知能(AI)といった、最新技術に関する研究発表が国内外の研究者ならびに企業によって行われるほか、企業や大学によるこれらの技術の実用化に向けた展示デモンストレーション、業界最高クラスのCG/アニメ/映画作品を上映するエレクトロニックシアターなど、国際学会

ならではの最新プログラムが行われる。多くの日本の大学・研究機関が発表を行い、参加者が最先端技術に対する知識を深め、国や地域を越えた人材交流の機会となることが期待されている。

シーグラフィア 2018で、カンファレンス・チェアを務める安生健一氏は、開催について次のように述べた。

「CGとインタラクティブ技術に関する世界最大級の国際会議として2008年から始まり、今年で11年目を迎えるシーグラフィアが、初めて東京で開催されることを、私たちは大変楽しみにしています。シーグラフィアは論文発表や展示会、デジタル映像ショーやVR/ARイベントなど、多種多様なプログラムを用意しています。2018年の開催テーマはクロスオーバーです。東京は世界有数のデジタル産業都市であり、ゲームやアニメはもちろんのこと、世界最先端のCG/VR/ARを駆使した、多くの産業や芸術文化が交錯する都市です。CG映画の根幹をなすデジタルメディアと、常に進化し続ける東京がクロスオーバーしていく様を、この国際会議で世界中の皆さまに体感していただきたいと思っています。特に今回は、従来のシーグラフィアよりも、インタラクティブで体験型のイベントを多く予定しています。その場に来ないと体験できない、最新のデジタルテクノロジーとその未来をお届けする所存です」

シーグラフアジア 2018 開催概要

会期:2018年12月4日(火)~7日(金)
カンファレンス:12月4日~7日、展示会:12月5日~7日会場:東京国際フォーラム(東京都千代田区)

主催:ACM SIGGRAPH

運営:ケルンメッセ (Koelnmesse)

Web:<https://sa2018.siggraph.org/jp/>

後援:(2018年2月20日現在)

日本政府観光局、経済産業省、東京商工会議所、公益財団法人画像情報教育振興協会(CG-ARTS)、一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会(CESA)、一般財団法人最先端表現技術利用推進協会、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)、一般社団法人デザイン&テクノロジー協会(DaT)、一般財団法人デジタルコンテンツ協会(DCAJ)、一般社団法人日本動画協会(AJA)、特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)、一般社団法人VFX-JAPAN、一般財団法人プロジェクションマッピング協会、一般社団法人映像情報メディア学会、一般社団法人画像電子学会、芸術科学会、一般社団法人情報処理学会、一般社団法人人工知能学会、一般社団法人電子情報通信学会、日本図学会、特定非営利活動法人日本バーチャリアリティ学会、一般社団法人日本ロボット学会、一般社団法人可視化情報学会、特定非営利活動法人ヒューマンインタフェース学会

協力:(2018年2月20日現在)公益財団法人東京観光財団(TCVB)

主なプログラム(2018年2月現在)

- ・アートギャラリー(Art Gallery)
- ・コンピュータ・アニメーション・フェスティバル(Computer Animation Festival)
- ・コース(Courses)
- ・イマージング・テクノロジー(Emerging Technologies)
- ・テクニカル・ブリーフ/ポスター(Technical Briefs, Posters)
- ・テクニカル・ペーパー(Technical

SIGGRAPH ASIA 2018 TOKYO Art Gallery アート展示

- ・コンピュータグラフィックスやインタラクティブ技術を駆使した最先端のメディアアート作品の展示
- ・公募で集め審査を経て選ばれた作品と招待作品から構成される
- ・多面的なSIGGRAPH Asiaをアートの側面から見せる唯一のプログラム



Program Chair
Tobias Klein
(City Univ. Hong Kong)



Co-Chair
Kyle Chung
(City Univ. Hong Kong)



CONFERENCE 4-7 December 2018

EXHIBITION 5-7 December 2018

Tokyo International Forum, Japan

SA2018.SIGGRAPH.ORG

SIGGRAPH ASIA 2018 TOKYO Computer Animation Festival コンピュータアニメーションフェスティバル

- ・最新アニメーション技術や、ビジュアルエフェクトを駆使した映像作品から科学ビジュアルゼーションまで広範な映像作品が上映される。
- ・公募で集め厳しい審査を経て選ばれた作品の中でも優秀な作品はElectronic Theaterで上映される。
- ・様々なジャンルの作品をじっくり鑑賞できるAnimation Theaterもある。
- ・Production Session(メイキングなどの講演)やProduction Gallery(原画やモデル、衣装などの展示)なども併催予定。



プログラムチエア
塩田周二氏
(ポリゴンピクチャーズ)



CONFERENCE 4-7 December 2018

EXHIBITION 5-7 December 2018

Tokyo International Forum, Japan

SA2018.SIGGRAPH.ORG

SIGGRAPH ASIA 2018 TOKYO Courses コース

- ・公募で集められ、プログラム委員会によって選ばれた講師により、コンピュータグラフィックスやインタラクティブ技術に関するチュートリアルを行う。
- ・高度で専門的なものから初心者向きのもまで、幅広いレベルでさまざまなトピックがある。



Program Chair
Carol O'Sullivan (Trinity College)



CONFERENCE 4-7 December 2018

EXHIBITION 5-7 December 2018

Tokyo International Forum, Japan

SA2018.SIGGRAPH.ORG

Papers)

・仮想現実/拡張現実(Virtual & Augmented Reality, VR/AR)

・展示会(Exhibition)

・学生ボランティア(Student Volunteers)

SIGGRAPH ASIA 2018 TOKYO Emerging Technologies イマージングテクノロジー

- 未来指向のインタラクティブ技術に関するデモンストレーション展示（大学や研究機関が多い）
- 例年、数十件の投稿から厳正な査読を経て採択される
- 来場者はデモを体験することができるとともに、発表者と直接議論ができる。
- 日本の活躍が顕著なプログラム



プログラムチェア 髙橋 拓志 先生 (東大)



CONFERENCE 4 - 7 December 2018 EXHIBITION 5 - 7 December 2018 Tokyo International Forum, Japan
SA2018.SIGGRAPH.ORG

新技術の動向に触れる機会を提供していただいております。コンピュータエンターテインメントでも応用可能な CG 技術やデジタルコンテンツの制作事例が発表される SIGGRAPH Asia の場で、分野や技術の垣根を越えて、業界に携わる人々の交流が更に促進されることを期待します！」

公益財団法人 画像情報教育振興協会 (CG-ARTS)

専務理事 鈴木 郁氏

「CG-ARTS と ACM SIGGRAPH はコーポレート・アグリメントを結んでおり、「SIGGRAPH Asia 2018」を後援しています。世界から研究者やクリエイターが集まるこの SIGGRAPH ASIA が、今回は東京開催となる絶好の機会です。学会、産業界は勿論、CG 分野での仕事を目指し頑張っている学生の皆さんにも是非参加をさせていただきたいと思います」

SIGGRAPH ASIA 2018 TOKYO Technical Briefs and Posters テクニカルブリーフとポスター発表

- 技術・アート・教育・産業の領域から、広く公募、リラックスした雰囲気でのプレゼンテーション形式の発表。
- 作品のメイキングなど、プロダクショントークなども行われる。
- ポスターは、若手にとって国際会議デビューのよい機会。



Program Chair
Nafees Bin Zafar (Digital Domain)



Co-Chair
Kun Zhou (Zhejiang Univ.)



CONFERENCE 4 - 7 December 2018 EXHIBITION 5 - 7 December 2018 Tokyo International Forum, Japan
SA2018.SIGGRAPH.ORG

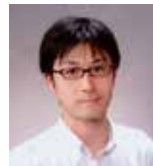
一般財団法人デジタルコンテンツ協会 (DCAJ)

専務理事 市原健介氏

「機械学習システムが普及しても、新たな技術や表現の創造と意思決定は人間にしかできません。次代を担う技術者・表現者が「SIGGRAPH Asia 2018」に参画して、素晴らしい未来を確信できる研究発表や熱い議論を繰り広げることを期待します」

SIGGRAPH ASIA 2018 TOKYO Technical Papers 論文発表

- 世界最先端技術論文の発表。
- 例年約400件の論文投稿。
- 厳正な査読（採択率20%程度）により論文が採択される
- “Papers Fast Forward”：初日の夜に開催される人気イベント。論文の著者が1分程度で論文を紹介する。



プログラムチェア 五十嵐 健夫 先生 (東大)



CONFERENCE 4 - 7 December 2018 EXHIBITION 5 - 7 December 2018 Tokyo International Forum, Japan
SA2018.SIGGRAPH.ORG

デジタルハリウッド大学 学長 杉山知之氏

「日本には、ゲームとアニメ産業を中心にアジア最大の CG のプロフェッショナルコミュニティがある。しかし CG の発展のために大きな役割を果たしてきた SIGGRAPH については必ずしも認知が高いとは言えない。デジタルハリウッドは、日本においてもっと多くの CG 人材を育成してきた。私達が SIGGRAPH Asia 2018 に参加し、プロフェッショナルとなって活躍している卒業生たちに、多くの国のプロや学生たちと交流をしてもらい、

後援・協力団体からの応援メッセージ (アルファベット音順継承略)

一般社団法人コンピュータエンターテイン

メント協会 (GESA) CEDEC 運営委員会
委員長 中村樹之氏

「SIGGRAPH Asia では、開発者が最

SIGGRAPH が持つ重要性を広めていきたい]

東京 ACM・SIGGRAPH プロフェッショナルチャプター

代表 安藤幸央氏

「最新技術やさまざまなアート作品、CG 映像のメイキングからインスピレーションを受け、世代や業種を超えて世界中の皆さんとコミュニケーションを取り、1 年分のモチベーションをチャージできるのが、SIGGRAPH Asia の素晴らしいところです。SIGGRAPH Asia の本分は学会ですが、CG とインタラクティブ技術のお祭りという感じで、素晴らしい充実したカンファレンスだと思います。SF 映画に出てくるような未来都市東京へようこそ、皆さんもぜひご参加ください」

一般社団法人 VFX-JAPAN 代表理事 結城徹氏

「今年、シーグラフアジアが東京で開催されることは、我々にとっても、極めて意義深いことだと思っています。世界各国からのビジター、国内の CG/VFX 関係者が一同に集結し、情報発進やコミュニケーションがますます深まるよう、我々も可能な限りサポートさせていただきます。シーグラフアジア 2018 東京の開催によって、日本の CG/VFX 産業が、ますます発展し、アジアの中心的な役割を果たせることを願っています」

◆ SIGGRAPH Asia について

SIGGRAPH Asia (シーグラフアジア) は、コンピュータ科学分野の国際学会 (ACM: Association of Computing Machinery) の分科会「SIGGRAPH」が毎年冬にアジアで主催する、コンピュータ・グラフィックスとインタラクティブ技術の研究発表・展示を行う国際会議です。2008 年から始まった SIGGRAPH Asia には、会期中アジア諸国を中心に約 1 万名が来場します。日本では横浜 (2009 年)、神戸 (2015 年)



Virtual and Augmented Reality VR / AR



- VR/AR/MRに関する最先端の技術やコンテンツを体験できる。
- 公募で集め審査を経て選ばれた作品と招待作品から構成される。
- 企業やコンテンツホルダーからの出展が多い。



Program Chair
Taehyun Rhee
(Victoria Univ. Wellington)



Co-Chair
Larry Cutler
(Baobab Studios)

CONFERENCE 4 - 7 December 2018 EXHIBITION 5 - 7 December 2018 Tokyo International Forum, Japan
SA2018.SIGGRAPH.ORG



Exhibitions 展示会



- 関連分野の企業や団体、大学や専門学校などが一堂に会し展示。
- Job fair (リクルーティング) も開催。
- Exhibitor Talks 展示会場内の出展者によるプレゼンテーションの場。



CONFERENCE 4 - 7 December 2018 EXHIBITION 5 - 7 December 2018 Tokyo International Forum, Japan
SA2018.SIGGRAPH.ORG



Student Volunteer 学生ボランティア



- 世界中から集まる約100-200人の学生が大会運営をサポートし、様々な事を学ぶ。
- 大学・大学院・専門学校などの学生
- 同世代で研究や作品制作に取り組む友人を作り、第一線で活躍する研究者やクリエイターと接点を持つ大変貴重な機会。
- 抱負などを英語で書いて応募し、審査によって選ばれる。
- 仕事は交代制で、空き時間には興味のあるセッションを聴講したり、イベントに参加できる。
- 食費や宿泊費、旅費の一部をサポートする場合もある。



Program Chair
Rianti Hidayat



に続き、2018 年 12 月に東京で 3 度目の開催が決まりました。詳細はこちらをご参

照ください (<https://sa2018.siggraph.org/>)